

世界ウイグル会議総裁 ドルクン・エイサ氏のプロフィール

■ 略歴

- ・ドルクン・エイサ (Dolkun Isa)
- ・1967 年、ケルビン県生まれ (ウイグル南部の町)
- ・世界ウイグル会議総裁
- ・1994 年にトルコへ脱出し、1996 年にドイツに亡命。

- ・新疆大学 (物理学を専攻)、北京外国語大学 (英語とトルコ語を専攻)、トルコのガジ大学 (社会政治学を専攻、修士号取得) を出ている。また、ドイツでコンピュータ科学の学位も取得。
- ・ウイグル語、中国語、英語、トルコ語、ドイツ語などを使いこなせる。
- ・著書に「The China Freedom Trap」などがある。



2019 年 6 月、アメリカ議会で民主主義賞を授賞するドルクン・エイサ総裁 (左から二番目)

■ 活動実績等

- ・1988 年 6 月、ウルムチで大規模な学生デモを主導。鎮圧後、数か月間の自宅軟禁の末、学籍剥奪処分を受けた。
- ・1996 年 11 月、今の「世界ウイグル会議」の前身である「世界ウイグル青年会議」をドイツで結成した。
- ・2004 年 4 月、ウイグル運動の国際的指導機関「世界ウイグル会議」を結成する上で重要な役割を果たした。
- ・初代総裁エリキン・アリプテキン氏(2004～2006)、2 代目の総裁ラビヤ・カディール女史(2006～2017)の下で、世界ウイグル会議の実務を担ってきた。2017 年 11 月の総会で世界ウイグル会議の 3 代目の総裁に選出された。
- ・国連、欧州議会、アメリカ議会などの国際舞台でウイグル問題の解決を訴え、「ウイグル特別法廷」等も主導してきた。
- ・欧米諸国政府がウイグル問題を扱う際に会合相手として選んでいる、ウイグル人の世界的指導者。

強制収容所の生還者 ケルビヌル・シディク氏のプロフィール

■ 略歴

- ・ケルビヌル・シディク (Qelbinur Sidik)
- ・1969 年、ウルムチ市生まれ
- ・大学卒業後に、ウルムチ市内の第 24 小学校で中国語教師として 28 年間勤務。
- ・2019 年 10 月、夫や親戚を残して中国を脱出し、以降オランダに住んでいる。



2021 年 6 月、ロンドンに設置された「ウイグル特別法廷」で証言するケルビヌルさん (左)

■ 収容所体験等

- ・2017 年 3 月、中国語教師として男性用強制収容所へ派遣され、6 か月間勤務。
- ・2017 年 9 月、中国語教師として女性用強制収容所へ派遣され、3 か月間勤務。(6 か月間の予定だったが、精神的に耐え切れず体調を壊したため、3 か月間で辞める。)
- ・職員として強制収容所を体験し、海外に脱出できた唯一の生還者。
- ・子宮内避妊具 (IUD) の強制的な装着を 3 度経験したほか、50 歳で強制的な不妊手術を経験している。
- ・BBC や NHK 等世界の主要メディア、欧米の議会等で、自らの体験を多数回証言。